



市内の気になる話題をご紹介します。

1/17

益田清風高校生が 学校で神妙に期日前投票

岐阜県知事選挙において、下呂市選挙管理委員会は、益田清風高校に期日前投票所を開設しました。

昨年6月の法改正で選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから、今回の選挙で初めて設置。授業を終えて、投票所にやって来た生徒42人は、市選管が立会人で見守る中、緊張した面持ちで1票を投じました。



校内に設置された期日前投票所で、市選管職員の説明を聞き、投票用紙を受け取り、記載台で記入し、投票箱へ投じる生徒ら＝萩原町萩原、益田清風高校

2/5

冬の飛騨路の交通安全を 見守る巨大雪像が出現！

萩原町商工会青年部員で組織する地域活性化委員会が、萩原町奥田洞の国道41号脇に、交通安全を呼び掛ける雪像を作りました。この雪像作りは、毎年恒例行事で、今回27回目。

雪像の題材を毎回変えて趣向を凝らすため、地元子どもらはとても楽しみにしています。今回は、酉年にちなみ、ライチョウをイメージした県警のマスコット「らびい」の雪像でした。



雪像の前で、下呂警察署長や下呂地区交通安全協会萩原支部長らと一緒に、記念撮影する委員＝萩原町奥田洞

1/27,28,29
2/3,4,5

鳳凰座歌舞伎保存会が 熱演！外国人に披露

鳳凰座歌舞伎保存会による地歌舞伎特別公演が、1月は鳳凰座で、2月は水明館で催されました。

外国人の誘客につなげようとする岐阜県の事業で、来場した外国人向けに、地歌舞伎や演目などについて英語で事前に解説してから上演。

この他にも、下呂温泉の芸妓による舞の披露やお座敷遊びもあり、外国人観光客は、日本の文化を下呂市で堪能しました。(表紙記事)



公演後、舞台の上で鳳凰座歌舞伎保存会の役者と、衣装を試着して記念撮影を楽しむ外国人観光客＝御厩野、鳳凰座

2/11,12

スポーツで楽しみながら、 家族のふれあい

岐阜県サッカー協会フットサル委員会が、下呂交流会館で「JFAファミリーフットサルフェスティバル」を催しました。この大会は家族対抗戦で行われ、参加者たちは家族で和気あいあいとボールを蹴って、スポーツを楽しみました。同時に「フットサル下呂市カップ」も、下呂市サッカー協会主催により催され、各部門に別れ、それぞれで熱戦を繰り広げました。



同時開催の「フットサル下呂市カップ」小学生中学年の部で、ボールを必死に追いかける小学生ら＝森、交流会館